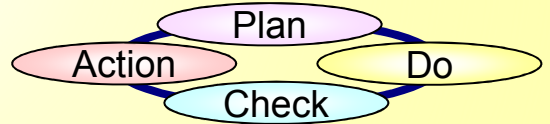


全国的な学力調査の実施

調査の目的

- 国としては、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の改善・充実に生かす
- 教育委員会としては、自治体や学校の学力水準を検証し、教育委員会の施策の改善・充実に生かす
- 学校としては、個々の児童生徒の学習状況を把握して指導に生かすとともに、学校全体として指導方法の検証・改善につなげる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する



30年度調査の実施

調査日：平成30年4月17日（火）

調査対象：小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒（悉皆調査）

対象教科：国語、算数・数学、理科

（児童生徒、学校に対する質問紙調査も実施）

※英語調査実施に向けた予備調査を抽出方式で平成30年5月に実施。

31年度調査の実施（予定）

調査日：平成31年4月18日（木）

調査対象：小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒（悉皆調査）

対象教科：国語、算数・数学、英語（中学校）

（児童生徒、学校に対する質問紙調査も実施）

※中学校の英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」全体で45分程度、「話すこと」は15分程度（調査問題5分程度、準備や入退室に係る時間10分程度）を想定。なお、「話すこと」調査は、音声録音方式により一学級が同時に調査を行うことを想定している。

32年度調査の実施（予定）

調査日：平成32年4月中

調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒（悉皆調査）

対象教科：国語、算数・数学

（児童生徒、学校に対する質問紙調査も実施）

※経年変化分析調査及び保護者に関する調査を抽出方式で実施予定。